

群 馬 県 立 渋 川 青 翠 高 等 学 校			学 校 評 価 一 覧 表			(令和7年度版)			(別紙様式)		
羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題			学校関係者評価	
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	総合					
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動（授業等）を行っていますか。	① 総合学科高校として特色あるキャリア教育活動に満足している生徒が80%以上である。	・1年次では系列や科目のガイダンスを充実させ、興味関心や進路希望との齟齬をきたさないよう二者面談や三者面談等でしっかりと確認する。また、キャンパス見学やインターンシップを実施し、事前・事後学習にも積極的に取り組ませ、自らの将来を考えさせる。 ・2年次では、「自己探究セミナー」を通して自らを客観視し掘り下げさせるとともに、1年次に選択した系列ごとの学習の充実も図ることで、主体的に進路選択を考えられるように働きかける。 ・3年次では、できるだけ早くから二者面談等を行い、進路目標達成に向けての具体的な取り組みができるような準備をさせる。 ・部活動や体育祭等の学校行事を通して、学校への帰属意識を高める。入学式や体験学習会などの学校行事で生徒に係業務をさせたり、発表の機会を設けるなど、生徒に積極的に学校行事に関わらせる。								
		② 学校の諸活動に意欲的に取り組んでいると感じている生徒が80%以上である。									
	2 生徒の主体的な学びを引き出す「総合的な探究の時間」（総合研究）を行っていますか。	③ 一連の学習活動（課題設定、調査・研究、まとめ、発表等）を主体的な学びであると自己評価している生徒が80%以上である。									
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	④ 目的意識を持って主体的に学習や資格取得に取り組み、自らを成長させようと努力している生徒が80%以上である。	・進路指導部や総合学科推進部と連携し、キャリア教育と結び付けながら、授業や資格取得への意識を高める。 ・各教科と連携し、希望者に対して放課後に検定等の補習を実施するなど、計画的に指導する。								
		⑤ 学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が80%以上である。									
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑥ 職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に1～2回程度行っている。	・1年次に国語、英語、数学を中心に少人数・習熟度別授業を実施し、基礎・基本の定着を図る。 ・I C T機器を効果的に活用し、誰にとっても分かりやすい授業展開を実施する。 ・定期的に、職員会議や分掌・係・学年などの会議をして、些細なことでも生徒に関する情報交換をすることで、全職員の共通理解を図る。 ・部活動紹介や部活動見学の際に、部活動をする意義を伝えるとともに、魅力ある活動を通して加入率を高める。 ・学校いじめ防止基本方針、学校いじめ防止プログラム、学校いじめ対応マニュアルを生徒、保護者に周知し、未然防止、早期発見、早期対応を徹底して、いじめの根絶を図りたい。 ・基本的生活習慣の確立、挨拶や身だしなみについて生徒の意識を向上させるように、全職員が共通理解のもと指導する。 ・遅刻が続く生徒に対しては、担任から家庭に連絡を入れることを徹底して、遅刻から欠席につながることをないように、早期対応をする。								
		⑦ 部活動等への加入率が70%以上である。									
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に行っていますか。	⑧ いじめの解消率が90%以上である。									
		⑨ 基本的生活習慣を身に付け、服装頭髪など身だしなみがしっかりしている生徒が90%以上である。									
	6 生徒は規則正しい学校生活を送っていますか。	⑩ 家庭と連携を図ることで、生徒の遅刻者数は、1日平均1%以内である。									
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑪ 「自己の生き方」と「将来の職業」との関連を幅広く考えさせる活動を実施し、進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	・各行事やテストを実施後、自己に対する理解と課題を発見させ、成長を促す。 ・総合的な探究の時間とLHRを効率的に組合せ、3年間を見通した一貫性のあるキャリア教育を実施する。その際に「高校卒業時の進路」を「その後の自己の生き方」につなげるための考察の機会を各学年に必ず設ける。 ・三者面談で、進路希望について必ず確認する。 ・進路希望調査実施前に家庭で保護者と進路について相談させる。								
		⑫ 生徒の将来の志望について理解している保護者が80%以上である。									
	8 適切な進路情報を提供していますか。	⑬ 進路だよりを必要に応じて随時（年間12回以上）に発行している。									
Ⅴ 日常的な相談活動が充実していますか。	9 組織的・継続的指導を行っていますか。	⑭ 定例会議を月1回以上開催する。	・悩み等を抱えている生徒の職員間の情報共有とそれに伴う迅速な初動対応ができるように、解決に向けてチームで協働する。特に、学年会議での生徒情報を定期的（会議形式、回覧形式）に係で共有する。 ・生徒や保護者のニーズにあった内容のS C通信並びに教育相談通信を発行する。また、係職員が輪番制で作成することにより、内容の幅を広げ、効果的な情報発信を行う。								
		⑮ 教育相談通信・スクールカウンセラー通信を定期的（年間6回以上）に発行する。									
Ⅵ 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑯ 学校の教育活動を地域及び関係機関の方々に理解してもらうために「学校公開」を年3回以上実施している。	・授業公開や体験学習会など、多くの方に興味を持っていただけるよう、内容を工夫する。 ・学校の教育活動を伝えるために学校通信を発行する。 ・W e bページやInstagramの内容を充実させる。 ・P T A総会、P T A諸会議、マナーアップ運動、P T A研修会等のP T A活動をより参加しやすいよう改善を図る。また、各学校行事等に家庭や地域社会が積極的に関わられるよう、魅力的な運営・内容を心掛け改善を進める。 ・P T A新聞を通じて本校の諸活動や生徒の様子を広く家庭や地域に伝える。また、W e bページやスマート連絡帳及びオクレンジャーを効果的に活用し、広報活動や連絡を徹底する。								
		⑰ P T A総会、学年保護者会等に積極的に参加している保護者が70%以上である。									
	11 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	⑱ 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年3回以上実施している。									
Ⅶ 教育デジタル化に努めていますか。	12 I C Tを活用した指導を行っていますか。	⑲ I C Tを活用した授業に満足している生徒が80%以上である。	・I C T機器を効果的に用いるとともに、G o o g l eクラスルームの活用を推進する。また、オンライン授業の体制を整える。								
		⑳ オンラインによるアンケートを3回以上実施している。									
	13 I C Tを活用した業務改善を行っていますか。		・学校評価アンケート、授業アンケート、学校行事の振り返り等、オンラインで実施する。								